

令和元年11月栄町教育委員会定例会会議録

期日 令和元年11月28日(木) 開会：午前10時 閉会：午前11時15分

会場 栄町役場2階第4会議室

教育長及び出席委員

教 育 長	藤ヶ崎 功
委 員(教育長職務代理者)	中 島 宣 行
委 員	大久保 雅 從
委 員	弘 海 千 鶴
委 員	石 川 京 子

欠席委員 なし

説明のため出席した職員

教育総務課長	磯 岡 和 之
学校教育課長	大 野 真 裕
生涯学習課長	早 野 徹
給食センター施設長	亀 田 浩

職務のため出席した職員

教育総務課長補佐(書記)	由 井 茂
--------------	-------

傍聴人：0人

- 1 教育長開会宣言
- 2 議事の進行 中島宣行委員(教育長職務代理者)
- 3 署名委員の指名 石川委員
- 4 会期 本日1日限り
- 5 教育委員の活動報告

令和元年度 11月「教育委員の活動報告」

月	日	曜	場所	活動名	内 容
10	26	土	栄中	おやじソフト	町PTA連絡協議会主催の大会が雨天中止なり、反省会に学校教育課長とともに参加しました。
	30	水	ふれプラ	式典	4年に1度举行される「栄町戦没者追悼式」に参列しました。ご遺族代表謝辞 小山様のお言葉が胸に迫りました。
	31	木	役場	会議	庁舎内課長会議に参加しました
11	1	金	安食台小	家庭教	合同家庭教育学級「IICS(イキイキスクール)」に参加し、挨拶後、帰庁しました。中島委員、弘海委員、石川委員も参加し、「食育」に関して、日本食育インストラクター協会の永山インストラクター様からご講話をいただき、その後、給食の試食会という計画でした。
			役場	会議	庁舎内課長会議に参加しました。 子ども議会の町長等への説明会に参加しました。
	3	日	安食小	ソフトバレー大会	若葉杯の開会式に参加し、始球式を行い、激励してきました。
			房総のむら	コスプレ祭り	コスプレ大会に参加しました。
				ふるさと祭り	餅まきを行ってきました。
	5	火	安食小	校長会議	キャンペーン報道に至った神戸市教員いじめ問題を取り上げ、管理職としての職員管理を強く指導しました。また、今年度の柱とした不祥事根絶の継続、いじめ防止、多忙化改善の継続についても指導しました。
	6	水	議場	子ども議会	6名の子ども議員の質問に答弁しました。弘海委員が傍聴。
	8	金	竜角寺台小	公開研	国立教育政策研究所、千葉県教育委員会「ちばっこの学び変革」推進事業指定算数科公開研究会に委員の皆さんとともに参加しました。
	11	月	安食台小	教頭会議	神戸市教員のいじめ問題を教訓にし「職員室の担任たる教頭」の責務を意識してもらいました。また、校舎戸締まりの徹底について、日直職員へ指導するよう要請しました。
	12	火	ふれプラ	歓迎会	台湾新北市にある「智光商工学校」の一行26名の生徒と職員1名が来日し、本町において1泊のホームステイに臨み、13家庭が受け入れる歓迎式典を開催しました。
	13	水	ふれプラ	送別会	1泊のホームステイを終えた一行が、受け入れ家庭との別れを惜しんでいました。
			竜角寺台小	会議	地域との協働について、生涯学習課長、担当、校長、教頭を交えて話し合いを持ちました。
	16	土	栄特支	文化祭	文化祭「栄龍祭『笑顔いっぱい、思い出いっぱい、栄の秋だヨ 栄龍祭』」の招待を受け、岩井県議、小池県議等と一緒に参観してきました。石川委員も来校していました。
	17	日	ふれプラ	秋のお茶会	悠々亭庭園を整備してくれているボランティアチームが菊鉢を借り受け、ミツバツツジ等の紅葉に染まった庭園に配置された中、表千家中澤宗和席主による茶会が催されました。
	18	月	佐倉市	会議	印旛郡市文化財センターの理事会が開催され、前期事業の進捗状況と、後期並びに次年度職員の採用予測を協議しました。
	20	水	役場	会議	委員会内課長会を開催しました。
	21	木	布鎌小	発表会	町「青い麦の子学習発表会」が開催され、大久保委員、弘海委員とともに、参観してきました。 町内5校と栄特別支援学校が加わり合同での開催でした。 会に先立ち、紀文食品さんが、感謝状を受賞されていました。
22	金	役場	選定会	ICT環境総合整備事業にかかる「プロポーザル審査会」を開催しました。県教委、校長会、教務主任会、情報教育担当者、町教委等9名で、提案会社からの説明を受け、評価しました。	
		安食小	研修会	町教育振興会主催の「グローバル人材の育成」公開研究会が安食小で開催され、中島委員、大久保委員、弘海委員とともに参加しました。	
25	月	役場	会議	子ども議会第2質問に対する、町長等への説明会に参加しました。	
		教育長室	事務	文化財センター事務局長が来庁し、理事会議事録の署名をしました。	
26	火	布鎌小	鑑賞会	文化庁による文化芸術子供育成事業「能」の巡回公演があり、文化庁参事官補佐中山氏、石川委員とともに鑑賞しました。	
27	水	役場	会議	給食センター用地選定検討委員会を開催し、候補地の説明と視察を行いました。	
27	水	役場	定例会	11月の定例教育委員会会議(報告1件、議案2件)	
		ふれプラ	研修会	印旛郡市学校保健研修会が開催され、参加します。	

藤ヶ崎教育長：

先月、21日の定例会後の活動について報告いたします。

10月26日土曜日、町PTA連絡協議会主催の大会が雨天中止になり、反省会に学校教育課長とともに参加しました。

30日、4年に1度举行される「栄町戦没者追悼式」に参列しました。県からは印旛振興センター代表らが参列し、町長の式辞、来賓挨拶の後、教育委員会を代表し献花をして参りました。年々ご遺族が少なくなる中、代表謝辞の小山様のお言葉により、平和の大切さが胸に迫りました。

11月1日、合同家庭教育学級「IICS（イキイキスクール）」に参加し、挨拶後、帰庁しました。中島委員、弘海委員、石川委員も参加し、「食育」に関して、日本食育インストラクター協会の永山様からご講話をいただき、その後、石川委員ご提案の給食試食会が開催されたと聞いています。

3日、安食小で「若葉杯ソフトバレーボール大会」が開催され、始球式を行いました。成田、四街道、八街、富里、印西、遠くは市原市からも来町いただきました。リバーサイドマラソン、ふるさと納税のコマーシャルを兼ねて、挨拶しました。

その後、房総のむらに移動しまして、町主催の「感謝祭・コスプレ大会」に参加しました。今年は、参加チームが少ない状況でしたが、豆忍者が手裏剣を飛ばし、優勝しました。終了後は、房総のむら主催の餅まきに参加しました。

5日、安食小学校にて、校長会議を開催しました。今年のテーマである「不祥事の根絶、いじめ防止、多忙化改善に、追加して、神戸市立東須磨小で発生した「同僚教員のいじめ」について、新聞、週刊誌等のキャンペーン報道に触れた話をしました。

6日、子ども模擬議会を開催し、6名の子ども議員の質問に答弁しました。弘海委員を始め、学校長等が傍聴されていました。

8日、国立教育政策研究所、千葉県教育委員会「ちばっこの学び変革」推進事業指定算数科公開研究会に委員の皆さんとともに参加しました。

11日、安食台小にて教頭会議を開催し、「職員室の担任となる教頭先生方」に、教員間のいじめ等ハラスメントに注意をするよう話しました。また、台風等非常変災時に、学校施設の点検にいった際に、鍵をかけ忘れていた窓が複数あったことから、日直職員への指導の徹底を呼びかけました。

12日、台湾新北市にある「智光商工学校」の一行26名の生徒と職員1名が来日し、本町において1泊のホームステイに臨み、受け入れる13家庭とともに歓迎式典を開催しました。翌朝、1泊のホームステイを終えた26名の生徒達を送りました。ご協力いただいた13家庭に感謝しております。

13日、夕方には、竜角寺台小学校で、地域コーディネーターとの関係修復を図る

ための打合せを行いました。比較的、うまく運営している安食小学校の「ふれあい推進」の運営法を参考に、新学習指導要領で打ち出された「社会に開かれた教育課程」に向かう、地域との協働について、生涯学習課長、担当岩井、校長、教頭を交えて話し合いを持ちました。こちらについては、12月に自治会関係者、そして、学校に関わりのある全ての団体を集めて、再度、協力依頼を行う計画を練りあげております。

16日、県立栄特別支援学校の文化祭「栄龍祭『笑顔いっぱい、思い出いっぱい、栄の秋だヨ 栄龍祭』」に行ってきました。地元岩井県議、成田の小池県議等と一緒に参観してきました。石川委員も来校していました。

17日、悠々亭庭園を整備してくれているボランティアチームが菊鉢を借り受け、ミツバツツジ等の紅葉に染まった庭園に飾ってくれ、座敷では、表千家中澤宗和席主による茶会が催されまして、結構なお点前を頂戴して参りました。

18日、印旛郡市文化財センターの理事会が開催され、前期事業の進捗状況と、後期並びに次年度職員の採用予測を協議してきました。

21日、布鎌小学校にて「青い麦の子学習発表会」が開催され、大久保委員、弘海委員とともに、参観してきました。各学校ともに、工夫された発表でした。布鎌小学校では、去年の「寿限無」の暗唱とは異なり、跳び箱、マット運動という連続技に挑戦し、最後に、ボールを捕球するまで、繰り返していました。町内5校と栄特別支援学校が加わり合同での開催でした。会に先立ち、紀文食品さんへの感謝状が読み上げられていました。特別支援教育に対する振興大会は、県内各所で、地区ごとに開催されていたものが、ここ印旛地区でも、市町持ち回りで行っていました。栄町でも、平成21年に、ふれプラで行い、私も成田の学校から参加したことを覚えています。市町開催になって3年目となります。以前に比べ、町全体で発表の練習をすることもなくなり、子供たちにとって、担任にとっても多忙化解消に繋がっていると思います。ただ、校長会は、9年に一辺の業務から、毎年、関わることになり、大変です。

22日、ICT環境総合整備事業にかかる「プロポーザル審査会」を開催しました。県教委から事務所指導主事、校長会から鳥羽校長、教務主任会からは栄中、安食台小教務、そして、安食小と竜角寺台小の情報教育担当者と5小中学校の職員と町教委等、全9名で、提案会社からの説明を受け、その後判定資料を回収しました。

同日、町教育振興会主催の「グローバル人材の育成」公開研究会が安食小で開催され、中島委員、大久保委員、弘海委員とともに参加しました。私は、午前中の外国語活動の授業を参観した後、途中抜けて、全体会から参加しました。2年間の研究により、子供達がグローバル化への変容を遂げたことが理解できました。

25日、子ども議会第2質問に対する、町長等への説明会に参加しました。

26日、「能」観劇会が布鎌小学校でありました。文化庁参事官補佐をお迎えしまし

た。

27日、第1回学校給食センター建設用地選定検討委員会を開催し、建て替えに到る現況と3候補地の説明並びに現地視察を行いました。2回目は12月11日に開催し、17日に給食センター運営協議会に諮り、20日の定例教育委員会会議にて議決いただいた後に、教育委員会の決定として町長に報告し、町としての建設用地の決定へと進みます。そして、次年度の予算計上を行う計画です。

そして、今日、11月の定例教育委員会会議は、報告1件、議案2件となります。よろしくご審議の程、お願いいたします。

なお、午後は、印旛郡市学校保健会の研修会がふれプラで行われます。昨年度に続き、2年連続開催の最終年となり、今年は「虐待防止」について、千葉県子どもと親のサポートセンター、元竜角寺台小学校でも勤務された、竹尾幸指導主事の講演を予定しております。

以上、報告とします。

大久保委員：

11月21日木曜日、布鎌小学校で行われた「青い麦の子学習発表会」に出席いたしました。

例年同じですが、安食小、安食台小、竜角寺台小、栄特別支援学校の先生方の指導のもと、大変上手にいきいきと発表を行っていました。

ふわふわパラシュートと題した発表では、保護者、先生、子供たち、皆参加して行われ大変すばらしいものでした。

パラシュートは、私が20年前に習志野空挺団にいつてもらってきたもので今でも使われていることにありがたく思いました。

また、発表会の最後に「世界に一つだけの花」を一生懸命に歌っている姿を拝見し、とても感動しました。

弘海委員：

11月6日に開催された子供模擬議会を傍聴させていただきました。昨年は西日本豪雨があったので、災害についての質問が多かったように感じましたが、今年は、栄町についての質問が多かったように思いました。内容については、来年開催予定のオリンピック・パラリンピックに向けて「栄っこ」として栄町の魅力を伝えることはできないか、栄町の特産品のPRについて、町の人口問題、生活で必要な交通事情など子供たちが日ごろから考えていた質問がしっかりできていたと思います。子供たちは、とても緊張している感じでしたが、頑張っていたと思います。

私も布鎌小学校で開催された「青い麦の子学習発表会」に参加しました。特に中学生の発表がととても良くて「小さな動物の命を大切に」ということで、保護団体のところに行きいろいろ学び、調べたことなどうまくまとめて解り易く発表していました。先生方の指導がととてもいき届いていたと思いました。

石川委員：

7日、安食小学校、26日、布鎌小学校、28日、竜角寺台小学校の公開授業を拝見してきました。

安食小学校は、授業参観の開催の周知をしっかりとやられていたようで保護者の方が多く参加されていました。また、授業の後に給食の試食もあったようです。

にぎやかで、子供たちも保護者が来てくれてととても嬉しそうな表情を浮かべていて、学校全体が華やかでとても良い1日でした。

布鎌小学校は、午前中の授業参観、午後の文化芸術鑑賞会でしたが、参加者が少なく特に午後は、大阪から大槻能楽堂さんが「能」を披露していただき、素晴らしい内容でしたが、参加者が少なくもったいないと思いました。

竜角寺台小学校でも参加者が私だけで、残念に思いました。

中島委員：

22日にICT環境整備事業にかかるプロポーザル審査会が行われたようですが、いつごろに会社が決定されるのですか。

藤ヶ崎教育長：

株式会社内田洋行に決定いたしました。

6 案 件

報 告

報告第1号 硬式テニス専門部 第17回新春テニスフェスタの後援承認について

磯岡教育総務課長：

それでは、報告第1号についてご説明いたします。

令和元年11月17日付けで栄町硬式テニス専門部部长 佐藤実氏から「硬式テニス専門部第17回新春テニスフェスタ」について後援承認申請がありました。行事の趣旨は、硬式テニスの普及・技術の向上を図りテニスを通じて町民の親睦と友好を深

め、あわせて体力の向上と健康の維持増進を図るものです。

会場及び日程は、水と緑の運動広場テニスコートで令和2年1月19日（日）予備日1月26日（日）で、参加予定者数及び参加の方式は、80名で当日抽選で8チームに分けてトーナメントとなっています。参加費は一般で500円となっております。行事の後援者として、栄町教育委員会を予定しております。

報告第1号につきましては、共催後援規程の趣旨に沿ったものでありますことから、教育長が専決処分したものでございます。以上よろしくお願いいたします。

7 案 件

議案第1号 令和元年度栄町一般会計教育費補正予算第7号について

磯岡教育総務課長：

提案理由です。別紙のとおり令和元年度栄町一般会計教育費補正予算第7号について、議会の議決を求めるべく栄町教育委員会行政組織規則第7条第3号の規定により町長に申し入れることについて、栄町教育委員会の議決を求めるものです。

（資料により説明）

電気料と水道料で1,713千円、下水道使用料が251千円、ガス代が6千円、各学校節約をさせていただいているところですが、半年が過ぎて、残りの見込み額を算出してこの額となっております。

竜角寺台小学校親時計修繕及び安食小学校親時計修繕638千円、これは、集中管理の親時計のプログラムが故障しており、職員が主導でチャイムをならしている状況のため修繕するものです。

大野学校教育課長：

（資料により説明）

私立幼稚園就園奨励費補助金分として補正を組ませていただきました。幼児教育の無償化に伴いまして、今まで行っていた制度から国の補助金による事業となりましたのでそのために補正を行うものです。10月からになりますので半期分、10月から3月までの分となります。

私立幼稚園就園奨励費補助金分として国補助2,097千円、私立幼稚園保育料等補助金分国補助分7,589,940円、町補助分3,794,970円が今年度の歳入となりまして、当初予算額を差し引き4,832千円を補正とします。

資料を3枚めくっていただくと、各幼稚園の子供たちの人数×かかる費用が書かれ

ておりますのでよろしく願いいたします。

A3サイズの資料をご覧ください。これはスクールバスの名義変更に伴う経費です。スクールバスのリース期間が終了することに伴いまして、町の名義になることになりました。その積算として、手数料1千円、譲渡書類発行手数料5,500円、リサイクル料金47,850千円で、予算が52,350円足りなくなりますので53千円の補正となります。

亀田給食センター施設長：

(資料により説明)

印刷製本費64千円を計上しております。納付書の様式の増刷2,000枚の印刷製本費になります。

通信運搬費8千円を計上しております。昨年度ひかり回線にしましたが、その工事分を今年度の通信運搬費に上乗せすることになっておりますので、それに伴うものとなります。

消耗品費468千円を計上しております。主なものとして、今回ボイラーの付属施設を交換したため、ボイラー脱酸素代替薬剤が必要となりましたので220千円の補正となります。その他、今後センター内で必要となるものを計上いたしました。

燃料費703千円を計上しております。ボイラーにかかる灯油代です。石油の価格の値上がりと、今後の使用の見込みから補正いたしました。

光熱水費、下水道使用料ともに今年度の見込から不足分を計上いたしました。

早野生涯学習課長：

(資料により説明)

歳入についてですが、埋蔵文化財調査補助金、これは、麻生の広ノ台遺跡の調査補助金です。もともとゴルフ場の開発で調査したところで、ゴルフ場が倒産して調査を継続する者がいなくなったため、町が補助金を利用して行う予定でしたが、ゴルフ場の経営を、謄本上引き継いだような形になっていましたが、引き継いだ会社は、そのようなことは知らないとのことなので、それを良く精査するように県から指導があり、今年度は中止ということで減額するものです。

文化財等の保存・公開事業についてですが、文化財の調査が中止になりましたのでそれに伴い4節、7節、11節を減額するものです。

図書室管理運営事業についてですが、昨年司書の資格を有する者が、体調をくずし休んでおり、代わりの司書を日々雇用で補うために、当初予算を組んでおりましたが、職員が復帰しましたので、これらの予算を減額するものです。

スポーツ環境整備事業についてですが、主にプールの開放で1日だけ気温が上昇し

て、水質が悪化したため、水を流した状態にして良好にしたためポンプの電気代が増えたものです。

文化ホールについてですが、ピンスポットライトが故障したために修繕するものです。運営委託につきましては、技術スタッフを委託し運営しておりますが、印西市のホールが来年1月から改修工事を行うということで、1月から印西市では受入れが出来ないため、その分が栄町に来るという理由から委託料を補正するものです。

石川委員：

房総のむらの水道使用料が増えたのはどのような理由からですか。

早野生涯学習課長：

今まで水道の蛇口が壊れて使えなくなりましたが、修理を行い解消されましたので、水道使用料を補正したものです。

《審査結果》

承認

議案第2号 栄町教育委員会の点検・評価報告書（案）について

磯岡教育総務課長：

提案理由です。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないとされていることから、栄町教育委員会行政組織規則第7条第23号の規定により栄町教育委員会の議決を求めるものです。

なお、今回は平成30年度が点検及び評価の対象です。

お手元の点検評価報告書に沿って、順を追って説明させていただきます。報告書の作成にあたっては、9月の議会終了後の9月26日に開催された、教育委員会会議において内容等の説明を行った後、10月16日に学識経験者2名により意見聴取をさせていただいております。全体の施策シートは、12施策シートからなっております。基本方針1に、教育総務課、学校教育課の所管事業の6施策、基本方針2、3に、生涯学習課の所管事業6施策となっております。評価は、教育委員会所管の11施策のうち、「目標達成が7施策」、「ほぼ達成が4施策」でありました。12施策の内教育委員会の全部の施策を1として評価する全体評価施策が1施策あります。上記のとおりの評

価でありましたので、全体の達成度は、「目標を達成」として評価いたします。まとめとして、12施策の施策中「目標達成が8施策」、「ほぼ達成が4施策」となりました。

今後、平成30年度の学識経験者のご意見を踏まえまして、栄町教育振興基本計画との整合性を図りながら各施策に取り組んでいきたいと考えております。

以上簡単ではございますが、説明とさせていただきます。ご審議をよろしくお願いたします。

中島委員：

2人の学識経験者から、何かご注文とか、特に厳しいご指摘とかありませんでしたか。

磯岡教育総務課長：

児童生徒数が少なくなっていますが、その中で教育費に関する予算が急激に減ったり、比例的に減っていくものでもないので、教育費の予算をしっかりと確保していただきたいというような話がありました。

大久保委員：

地域教育力向上事業の合同家庭教育学級を各学校ではなく合同で取り組んでいることは良いことだと思います。今年、千葉県に台風が直撃し甚大な被害をもたらし、また、これから温暖化の影響で災害発生リスクが高まってきますので、家庭教育学級で防災教育をお願いしたいと思います。以前私も学校でも地震と火災が発生した場合に備え、防災訓練を行っていましたが、今反省をすると、実態に合っていなかったと感じて、他の違ったやり方があったのではないかと思っています。学校と行政だけでは災害対応は困難であるとすごく感じています。

今日新聞に、大川小学校のことが書かれていました。裁判で行政に非常に厳しくて、子供たちの命は役所の責任だとしていました。弁護団の団長で遺族の今野さんの家族ですが、本当は裁判などやりたくなかった。大川小で6年生の自分の子が亡くなり、自宅にいた女子高校生が2人、両親も亡くなり、残ったのは自分と妻の2人だけになってしまった。家庭で津波が来た場合、どこに避難すれば良いかなど話したことがなかった。亡くなったのは私の責任で、一生償って生きていく以外無いということが書かれていました。

栄町は洪水の危険がある地域です。どこに逃げたら良いのかなど家庭教育学級で行って欲しいと思います。

石川委員：

私も同じことを考えていまして、11月10日に社協で、災害ボランティアセンターを立ち上げるということで講習会がありましたので、評議委員をさせていただいている関係で、研修会を拝見して来ました。その話の中で、防災は地域の中でやっていかなければならないということで、防災士さんからの話を聞く機会がありました。

この話は、私達でだけではなくて、子供たちも知っておいた方が良いのではないかと考えていました。

社協で、災害ボランティアセンターを立ち上げるにあたり共催が栄町消防防災課と栄町ボランティアNPO連絡協議会だったので、そのようなところも巻き込んで防災教育を学んでいただきたい。大久保委員の話に感銘を受け、私もそのような場が必要ではないかと考えます。

藤ヶ崎教育長：

今のことに関連すると思いますが、国土交通省利根川下流河川事務所が香取市にあります。栄町もその管轄で、そこから昨年度町長に教材を提示しても良いという話があり、そのことについて校長先生に照会をさせていただきました。布鎌小学校で今年度から事務所とタイアップして防災教育が始まりました。来年度は印教連の指定ということで、11月のどこかで公開研究会を行うということになっております。

もうすでに対岸の河内町では、国土交通省に頼んで行っているということです。

「能」の舞台があつて、その後で校長先生が国土交通省と打ち合わせて行うことでしたのでご案内までお伝えいたします。

もう一つは、10月27日に栄町で初めて、小学校区ごとに防災訓練を行う予定でしたが大雨で中止になってしまったことでもありましたのでご報告いたします。

《審査結果》

承認

8 各課等の報告について

磯岡教育総務課長：

来月の行事予定ですが、20日、2時に教育委員会議を開催したいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

大野学校教育課長：

ICT環境整備事業に関しまして、過日、全員協議会で説明をさせていただきました。
(資料により説明)

11月22日に業者選定のためのプロポーザルを実施し、株式会社内田洋行を選定することといたしました。

プロポーザルは株式会社内田洋行と富士通株式会社の2社から参加の申し出がありましたが、11月19日に富士通株式会社が辞退をしております。

選定委員は資料の通りとなっております。

選定は、2,000点を満点としまして、内田洋行は1,940点を獲得しております。限度額を、167,400千円を事前に示して、これは、5年間にかかる費用で、これに対して同額でこの事業を行うことが示されております。

主な選定要因については、資料を参照して下さい。また、3ページ以降は、9月の全員協議会の資料として示させていただいたものでございます。

中島委員：

プロポーザルは1社で問題ありませんか。

大野学校教育課長：

特に問題はございません。が、他の企業も参加していただいで比較できれば良かったと思います。

弘海委員：

コンテンツを使わなかった場合、次年度に無料で入れ替えが可能であるとなっておりますが次年度以降においても、無料入れ替は可能ですか。

大野学校教育課長：

5年間のリース期間となっておりますので、入れ替えは可能です。

弘海委員：

保守期間は無料で、入れ替えしていただけるということですか。

大野学校教育課長：

コンテンツには無料と有料があります。有料のコンテンツについては、契約の内容に関わってきますので、事業者と詰めていかなければならないと思っております。

藤ヶ崎教育長：

内田洋行との契約は、佐倉、成田、四街道、八街、印西で、そこに栄町が加わり、6つの市町が契約となります。そこに酒々井も補正でという噂もあります。現在内田洋行以外は白井市さんとなっています。

今回のプロポーザル選定委員の中に、以前佐倉にいた方が意見をいってくれたりしました。

亀田給食センター施設長：

給食センター施設用地につきまして、以前説明させていただいたものに沿って進めているところですが、昨日第1回の委員会を開催しました。5人の委員の方に出席をいただいて、候補地の案を提示し、それぞれ意見をいただくというスタンスで会議を進行させていただきました。会議終了後、3候補地を視察させていただきました。

第2回の用地検討委員会を12月11日に開催し意見をいただき、17日に運営協議会に報告を行い、20日に教育委員会議で用地を決定いただく予定となっております。その後町長に報告し、最終決定の運びとなります。

用地が決まりましたら、それに付随する事業等を行うための予算の計上を行ってまいります。

早野生涯学習課長：

さかえスポーツフェスタを今年度は12月21日に開催します。種目は昨年度と同様で、バレーボール、卓球、陸上を開催する予定です。

(委員全員参加)

成人式は、1月12日開催いたします。これにつきましても参加をお願いいたします。

リバーサイドマラソンは2月16日に開催します。現在約1,000人の申し込みがあります。12月27日が締め切りで、今回も4,000人を目標にしています。

10 教育長閉会宣言

以上、会議の顛末を記載して、その相違ないことを証する為、ここに署名する。